

【知識・技能】

- DP1 社会学・経済学・法学など現代社会を理解するために必要な基礎知識とそれらを包み込む幅広い基礎的教養を理解し、それを説明できる。
- DP2 現代社会における〈人間社会と心理〉、〈経済社会と企業〉、〈社会制度と政策〉および〈社会生活と地域〉という4つの基本分野に関する専門的知識を理解し、それを説明できる。
- DP3 現代社会の動きを的確につかみ、それをリサーチしてレポートをまとめることができる。
- DP4 現代社会やビジネス世界で求められるプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を身につけ、その能力を活用できる。

【思考力・判断力・表現力】

- DP5 現代社会がもつさまざまな側面にアプローチし、それらを洞察し、的確に判断できる。
- DP6 現代社会を生き抜き、その課題や困難に立ち向かうことのできる課題発見・問題解決型能力を身につけ、それを活用できる。

【主体性・多様性・協働性】

- DP7 多様な社会で自分と他者を生かせるよう積極的に行動し、社会や地域に貢献できる。
- DP8 「社会を知り人を想う」ことで新たな社会を創造しようとする精神を理解し、行動することができる。

授業科目名		科目概要	ナンバリング	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8
専門 基礎 科目	社会学入門	現代社会の理解に資する社会学の視点と方法についての基礎知識を身につけることができる。	GD1101	○		○		○			
	現代社会入門	現代社会の諸問題に関する基本的な理解をはかり、その解決に向けて総合的な観点から考えることができる。	GD1301	○		○					○
	経済学入門	経済学の基礎概念と経済学的思考法を身につけ、現代社会における経済の仕組みとその背後にある原理を理解できる。	GD1102	○		○	○				
	法学入門	法が日常生活に身近な存在で現代社会を生き抜くために必要な存在であることを様々な事例を通して学んだ上で、法学の基礎知識や考え方を修得できる。	GD1103	○	○	○					
	地域政策入門	各種制度や計画、実践的活動の事例分析を通じて、地域社会の抱える諸問題を把握し、その解決に向けた政策を理解することができる。	GD1104	○							○
	社会リサーチ入門	直接触れることのできない「社会」の可視化に資する、問題発見、仮説設定、定量的・定性的評価といった社会科学的な研究スキルの基本を身につけることができる。	GD1302			○		○			
基幹 科目	社会学理論	社会学の学説史を把握し、社会学理論の応用可能性について考察することで、現代社会がもつ深層の意味を多様な観点から学ぶことができる。	GD2301					○		○	○
	家族社会学	現代家族に関する基礎的理解と家族が抱える諸問題について、社会学的な視点から考えることができる。	GD2302	○				○			
	社会心理学	人間の社会性に関する心理学の専門用語について説明できる。また、心理学の概念を用いて対人的葛藤・問題の解決方法を提案できる。	GD2303	○	○				○		
	文化人類学	人間の社会化の過程を文化を通して理解することを目指す。このことにより、多文化共生の意義を知ることができる。	GD2304			○	○	○			
	社会政策論	人間社会の根幹をなす労働と生活から経済社会を見つめる視点と問題意識を身につけるために、社会政策に関する基礎知識を習得できる。	GD2305		○		○				○
	経済社会学	経済学と社会学の学際的分野である経済社会学における理論と分析事例を検討し、経済社会現象をより広い視点から総合的に理解できる。	GD2306	○		○	○				
	現代経済分析	現代社会で関心を集める経済政策や経済事象について、経済理論と関連づけて、その背景や意味、今後の社会に与える影響を理解できる。	GD2307	○	○	○					
	経済政策論	マクロ経済学を基本としながら、金融・財政政策を総合的に捉えることができる。また、近年の経済政策トピックについても理解することができる。	GD2308	○	○	○					
	情報産業論	現代産業における情報化（およびDX等）の展開とその方向性、ならびに情報産業の発展と経済におけるその位置づけについて、先進事例を踏まえつつ理解することができる。	GD2309		○			○	○		
	日本経済入門	戦後日本の各時代の特徴および変化を明らかにすることで、戦後日本における経済の歩みとその特徴についての理解を得ることができる。	GD2310	○			○				
	民法入門	民法の基礎的な知識を大筋で掴み、社会生活において不可欠な方の基本構造を習得し、社会生活で生じるトラブル解決能力の基礎をつくることことができる。	GD2311	○				○	○		
	名古屋都市論	本学が立地する名古屋をテーマに、空間形成史・文化史・産業史を通じて、都市発展要因または衰退要因について理解することができる。	GD2312		○			○			○
	社会統計学入門	社会統計学の基礎的知識と入門的な分析方法を学び、社会について統計的に分析できる。	GD2313	○		○		○			
	文化政策論	文化政策の国際比較、歴史的展開と今日の特徴、地域における諸課題などを明らかにしながら、文化を対象とした諸政策に関する知識の修得することができる。	GD2314		○			○			
	情報社会論	社会学における近代化論を枠組みとして、情報化が社会生活や地域社会にいかなる変化をもたらす可能性があるのかを説明することができる。	GD2315	○	○			○			

授業科目名		科目概要	ナンバリング	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8
福祉社会論		福祉ニーズの捉え方およびその発生のメカニズムを理解し、ニーズ充足に向けた地域社会のあり方について検討することで、「福祉マインド」を身につけることができる。	GD2316		○					○	
プロジェクト演習A		社会や地域での課題等をテーマとして設定し、フィールドワークや社会調査、PBLを活用して、半期開講の課題解決型演習科目として実践的知識が習得できる。	GD1303					○	○	○	
プロジェクト演習B		社会や地域での課題等をテーマとして設定し、フィールドワークや社会調査、PBLを活用して、通年開講の課題解決型演習科目として実践的知識が習得できる。	GD2317					○	○	○	
プロジェクト演習C		社会や地域での課題等をテーマとして設定し、フィールドワークや社会調査、PBLを活用して、通年開講の課題解決型演習科目として実践的知識が習得できる。	GD2318					○	○	○	
コミュニケーション論		情報とコミュニケーションの問題を社会的観点から分析することで情報空間の変容とその社会と人間への影響を知ることができる。	GD2319	○	○	○					
メディア論		メディア論の思考の系譜を理解し、マスコミの社会的機能・役割や、近年のインターネットをめぐる諸現象について社会科学的な観点から説明できる。	GD2320		○	○		○			
経済社会と倫理		経済社会の諸問題について倫理的な観点から捉え直すことを通じて、現代社会の問題をより深く考察するための基礎を身につけることができる。	GD3301		○	○					○
共生社会と法		憲法や国際人権法等の法が強く共生社会の考え方を踏まえ、国内で生ずるマイノリティ事例を検討し、新たな共生社会を創造する精神や力を身につけることができる。	GD2321		○					○	○
現代社会と人間		経済活動が独自の価値を持ち、それにより生活の様々なレベルで変化を引き起こしてきた近代化と、それに伴う社会の傾向と問題について理解することができる。	GD2322	○	○	○					
ヒューマンサービス論		人間の直面する多様な問題に全人的に対応し、一人の人生を尊重したサービスの統合化を検討するために必要な視点を身につけることができる。	GD3302						○	○	
産業・組織心理学		キャリア、リーダーシップ、組織安全などのテーマについて、心理学の観点から説明できる。またそれら知見を用いた組織の改善案について提案できる。	GD3303			○	○			○	
集団行動の心理学		身の回りの様々な現象について、個人-集団-システムの観点から心理学的に説明できる。また、集団の持つ利点を活かし、欠点を制御する方法について提案できる。	GD2323			○			○	○	
ファシリテーション論		みんなの意見や力を引き出しながら、話し合いやものごとを円滑に、創造的に進められるよう支援促進することができる。	GD2324					○		○	○
社会的合意形成論		関係者から賛成・反対の裏にある利害・関心を捕き、それらを満たす提案を創造的につくる社会的合意形成の基本的な考え方、心のあり方、技術、ノウハウを習得できる。	GD2325						○	○	○
キャリアと人間発達		「働く」ことを媒介とした、社会的要因と個人的要因の相互作用の中で発達していく人間のあり方に関する知識と技法の修得ができる。	GD2326		○	○				○	
カウンセリング論		対人援助の実践には欠かせないカウンセリングの基礎理論・技法の修得と、現代社会におけるメンタルヘルスの諸問題に関する知識を修得できる。	GD2327		○				○		○
現代経済学		専門基礎の経済学入門等で学んだ基礎知識を応用して、現代社会や日本経済が直面する具体的事例を学生参加型授業で考えることができる。	GD2328	○	○	○					
統計学		統計学の入門的なガイダンスを行い、経済データ等を図・表としてまとめる方法を学ぶとともに、度数分布表および基礎的な基本統計量について学ぶことができる。	GD2329	○	○			○			
データ解析		社会調査データの分析で使用する多変量解析の基本的な考え方や計量モデルについて、重回帰分析や分散分析などを中心に学ぶことができる。	GD3304	○	○			○			
金融論		金融論の基礎知識を学ぶことを通じて、毎日のニュースで流れる金融のニュースが私達の生活にどのような影響を及ぼすのかを理解することができる。	GD2330	○	○	○					
国際経済学		現実の経済の具体例を題材に、財やサービスの実物取引を扱う国際貿易理論と、資本取引を含む対外マクロ経済を扱う国際マクロ理論について学ぶことができる。	GD3305	○	○	○					
日本経済論		日本経済の発展を規定してきた国際的要因との関連で日本経済の歩みを検討することで、国際化の進展の中で複雑化した日本経済の構造について理解できる。	GD2331		○	○					
日本経済史		幕末開港以降の日本経済の歩みについて取り上げ、とりわけ、発展の契機となった日清・日露戦争との関連に焦点を当てて経済発展の過程を理解することができる。	GD3306		○	○					
企業イノベーション論		経済社会の発展の核心には、企業によるイノベーションの実現がある。現代企業のイノベーションの最前線について知ることで、その意義と重要性について理解することができる。	GD3307		○		○	○		○	
ものづくり経済論		ものづくりとは何か、人間および社会、日本経済にとってどのような意味を持つのかを理解し、21世紀日本ものづくりのあり方を創造的・政策的に構想することができる。	GD3308		○	○		○			
アントレプレナーシップ論		リスクを背負いながらも新たな可能性を切り開こうとする起業家（企業家）精神（アントレプレナーシップ）の現代社会における意義とその展開について学ぶことができる。	GD3309		○		○		○	○	
社会的企業論		社会的課題を解決するためにビジネスを手法とする企業活動におけるビジネスモデルや経営理念、社会的役割や課題を理解することができる。	GD3310						○	○	○

授業科目名		科目概要	ナンバリング	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8
展開科目	労働経済学	労働経済学の対象範囲と意義について、日本の制度や雇用の現状などのデータを通じて解説し、日本の労働市場の特徴と問題点について学ぶことができる。	GD3311		○	○					
	環境経済学	環境と社会・経済との間のトレード・オフに焦点を当てながら、豊かさや環境保全が両立する社会・経済システムのあり方をグローバルかつ包括的に学ぶことができる。	GD2332		○	○					
	アートマネジメント論	芸術は、社会に対して多様な価値観を明示し、矛盾を照らし出す役割を持っています。このような機能を有するアートを人材や情報、資金などの諸資源を駆使し、振興することができる。	GD2333				○	○	○		
	財政学	我が国の財政の仕組み、予算や課税の制度的側面について学ぶとともに、公債発行と赤字財政に関わる諸問題や国と地方の財政関係等について学ぶことができる。	GD2334	○	○	○					
	政治学 1	近現代における代表的な規範的政治理論を取り上げ、それらが政治社会における善と正義についてどのように取り扱ってきたのかを理解することができる。	GD2335	○	○	○					
	政治学 2	イギリス理想主義の政治哲学、アメリカ政治学における経験科学化と規範的政治理論の復権を取り上げ、近現代の規範的政治理論について学ぶことができる。	GD2336	○	○	○					
	行政学	行政が果たす役割や地方自治体における行政の現状と改革の行方について、現場の状況も含めながら学ぶことができる。	GD3312			○	○				○
	都市経営論	行政への「経営」視点の必要性和「公共」の意味変化について解説し、「公共経営」と現実の行政改革の関係をミナながら、これからの公共のあり方を展望することができる。	GD3313			○	○				○
	新都市政策論	都市を魅力ある場とする都市政策の基本的な考え方を踏まえ、社会の変化に対応した新しい都市政策の方向性について理解を深めることができる。	GD2337		○			○			○
	行政法	「行政」の組織や作用を対象としている「行政法」についての法的問題を紹介しながら、行政法のあり方について理解を深めることができる。	GD3314		○	○					
	社会生活と法	社会生活に欠かせない「契約法」について学び、契約から生じるトラブルを法的に解決しうる糸口を発見できる能力を養うことができる。	GD2338	○				○	○		
	不法行為と損害賠償論	「不法行為法」の理論と事例について学び、社会生活上の予期せぬ不法行為について理解を深めることができる。	GD2339	○				○	○		
	商法	「商法」と「会社法」の総則部分について学ぶことができる。	GD3315		○	○					
	会社法	「会社法」における各種会社形態について学ぶことができる。	GD3316		○	○					
	国際法 1	国際法について理解を深め、国際社会における様々な問題について法的な視点に基づいて分析するための基礎的な知識を身につけることができる。	GD2340		○	○					
	国際法 2	国際社会における外交的課題に対する国際法の規律の現状と課題について理解を深めることができる。	GD2341		○	○					
	国際政治	国際政治の歴史・理論の基本的視座と知識を習得し、私たちの生きる現代の国際政治の全体像を理解することができる。	GD3317		○	○					
	日本史概説	政治史に重点置き、体制や政権の成立・展開・衰退を歴史の流れに重点を置いて学び、日本史を教えるために必要な歴史的事項の理解を深めることができる。	GD1304		○	○					
	外国史概説	16世紀ヨーロッパにおける資本主義経済の成立と主権国家の確立による世界史の構造転換について理解を深めることができる。	GD1305		○	○					
	社会保障論	社会保障の必要性および歴史と理念、制度と機能、現状と課題を概観し、医療保障・所得保障・介護保障の現状と課題について理解を深めることができる。	GD2342			○		○			○
セルフプロデュース論	「アドラー心理学」と「自己SWOT分析」および「職場における意識管理術」等の基本について理解し、社会生活の中で実践できる。	GD2343				○		○	○		
家族と法	身分法と言われている民法の親族・相続編の基本的考え方を踏まえ、夫婦・親子・扶養・相続などを取り扱い、家族と法について学ぶことができる。	GD2344	○		○	○					
地域社会と法	憲法や地方自治関連法の基本理念や専門知識を踏まえ、各地域（離島や過疎地域も含む）が直面する現実課題を法的に分析する能力を修得できる。	GD3318		○			○	○			
地理学	人間の営みを地域や空間の視点から総合的に明らかにする人文地理学に基づいて、現代社会における諸地域の変化の背景や過程について考えることができる。	GD2345	○		○						
地誌学	地域構造の再編の実態に対して、グローバル化、サービス経済化、環境問題など幅広い視点から検討することができる。	GD2346			○		○				
自然地理学	変動帯として活動期にあるがゆえに見事な自然景観を形成している日本列島の地形的特徴について、さまざまな論文を紹介しながら理解を深めることができる。	GD2347	○		○						
地域経済論	名古屋を分析事例として、地域の基礎的分析方法、都市と地方の対立構造、地域戦略の考え方を理解できる。	GD3319		○	○			○			

授業科目名		科目概要	ナンバリング	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8
地域コミュニティ論	地域コミュニティ論	地域コミュニティに関する理論および現状と課題の検討を通じて、現代社会における地域コミュニティの意義と可能性について理解を深めることができる。	GD3320		○	○				○	
	観光まちづくり論	地域資源の再評価方法、資源管理のあり方、地域課題との接合など、観光現象の分析を通して、現代社会の特徴を理解することができる。	GD2348				○			○	
	ひとまちづくり論	まちづくりを巡って論点となる「人（具体的には、子ども、高齢者、主体形成）」に焦点をあて、その課題と解決策について理解することができる。	GD2349		○			○			○
	都市コモンズ論	多様な主体がつくり（構想、計画）、つかう（運営、管理）共有財産（都市コモンズ）の計画および運営方法について理解することができる。	GD3321		○			○			○
世界遺産論	世界遺産は、人類共通の普遍的な価値を次世代へ継承する制度です。遺産の概要を知論として知るだけでなく、制度の趣旨や矛盾、世界遺産を通じた文化理解などを学ぶことができる。	GD2350		○			○				
関連科目	デジタルプレゼンテーション	パワーポイントでスライドを作成、編集し、実際のプレゼンテーションの準備と発表を行い、相互評価を通じて改善を図りつつ、効果的なプレゼンを実施できる。	GD1306					○	○		
	データ表現技法	データ処理、方言方法を例題による実習形式で学び、エクセルによるデータの集計とグラフ描画方法をマスターすることができる。	GD1307					○	○		
	社会調査法1	社会調査について基本的な理解の習得を目指し、既存研究の内容や報告書、統計資料等から社会調査の意義と調査プロセスを学ぶことができる。	GD2351					○			
	社会調査法2	量的調査の基本的技法を紹介し、ワーディング等に取り組みながら、量的データの収集法と分析法の基礎的な習得ができる。	GD2352					○			
	現代社会調査	主に質的調査の調査企画・設計、調査方法、データ整理と分析、結果の考察など、社会調査の実施において求められる一連の手順を一通り学ぶことができる。	GD2353					○	○		
	社会調査実習	量的調査、もしくは質的調査の手法を用いて、社会調査士資格取得のために必要な調査能力を実践的に身につけることができる。	GD3322			○		○	○		
	スキル開発初級	社会で求められる基本的な専門知識及び技能を習得することで、現代社会の理解や就業力を向上することができる。	GD1308					○	○		
	スキル開発中級	社会で求められる専門知識及び技能を習得することで、現代社会の理解や就業力を向上することができる。	GD1309					○	○		
	スキル開発上級	社会で求められる高度な専門知識及び技能を習得することで、現代社会の理解や就業力を向上することができる。	GD1310					○	○		
	国際理解1	海外協力校での語学や現地事情などの授業等を受講し、異文化理解や語学力の向上ができる。	GD1311					○	○	○	
	国際理解2	海外協力校での語学や現地事情などの授業等を受講し、異文化理解や語学力の向上ができる。	GD1312					○	○	○	
	国際理解3	海外協力校での語学や現地事情などの授業等を受講し、異文化理解や語学力の向上ができる。	GD1313					○	○	○	
	国際理解4	海外協力校での語学や現地事情などの授業等を受講し、異文化理解や語学力の向上ができる。	GD1314					○	○	○	
	国際理解5	海外協力校での語学や現地事情などの授業等を受講し、異文化理解や語学力の向上ができる。	GD1315					○	○	○	
	国際理解6	海外協力校での語学や現地事情などの授業等を受講し、異文化理解や語学力の向上ができる。	GD1316					○	○	○	
	国際理解7	海外協力校での語学や現地事情などの授業等を受講し、異文化理解や語学力の向上ができる。	GD1317					○	○	○	
	国際理解8	海外協力校での語学や現地事情などの授業等を受講し、異文化理解や語学力の向上ができる。	GD1318					○	○	○	
	社会体験インターンシップ1	本学部との協力にもとづくプログラムに参加し、受入れ先での中長期にわたる研修を行うことで、社会的体験をすることができ、実社会における現場実践も獲得できる。	GD1319					○	○	○	○
	社会体験インターンシップ2		GD1320								
	演習科目	専門基礎演習	2年次対象の演習科目であり、学部での専門的な学習を進める上での基礎づくりを目指すとともに、大学生活におけるきめ細かい指導を受けることができる。	GD2101					○	○	○
現代社会演習1		3年次対象の演習科目であり、専門的な学習をもとに研究を深め、研究報告書を作成するとともに、就職活動や進路についてきめ細かい指導を受けることができる。	GD3101					○	○	○	○
現代社会演習2		4年次対象の演習科目であり、卒業研究に向けた研究指導ならびに論文作成指導を行うとともに、円滑な就職活動に向けたきめ細かい指導を受けることができる。	GD4101					○	○	○	○